



田中作次

田中 作次
2012-13年度国際ロータリー会長



高砂

No.9

Takasago Rotary Club

週報

クラブ会長方針

「ロータリーを楽しもう」

運営方針

- ①ロータリーファミリーで親睦の輪を広めよう
- ②ロータリアンの自覚とロータリークラブのイメージの向上
- ③長期展望でロータリークラブを考えよう
- ④60周年記念事業を成功させよう

例会記録 (2012. 9. 7 (金)) 通算2,909回

◆開 会

◆国歌斉唱 君が代

◆唱 歌 ロータリーソング (奉仕の理想)

◆「四つのテスト」唱和

◆ゲスト紹介

東播第2分区ガバナー補佐 増田耕太郎様
随行 佐野 栄作様



◆来訪ロータリアン 高砂青松RC 廣瀬明正会員

◆歓迎歌「松の緑」

◆プログラム予定

9月14日 (金)	9月21日 (金)	9月28日 (金)	10月5日 (金)
合同例会 (於:ウェディングパレス鹿島殿) 「はやぶさが解決した惑星科学40年の課題」 廣井孝弘氏	クラブアッセンブリー ガバナー公式訪問 ガバナー 石丸鐵太郎氏	卓 話 自己紹介 江角清次会員	卓 話 エコドライブ講習 播磨自動車教習所 長尾次長様 播磨交通研修センター 玉井係長様

◆出席報告

本日 9月 7日 会員数49名 出席者 33名 出席率 75.00%
前々回 8月24日 会員数49名 修正出席者44名 出席率100.00%

◆MAKE-UP

藤田 茂会員	e-CLUB	8月 8日 (8/31)
川勝 厚志会員	e-CLUB	9月 6日 (9/7)
川勝 厚志会員	e-CLUB	9月 6日 (8/31)
川勝 厚志会員	e-CLUB	9月 6日 (8/24)
藤田 茂会員	e-CLUB	9月 6日 (9/7)
小黑 清人会員	e-CLUB	9月 3日 (8/31)
井本 雅也会員	e-CLUB	9月 2日 (9/14)
新井 哲三会員	e-CLUB	8月31日 (8/31)
中木村 明会員	e-CLUB	9月 6日 (9/7)
信原 智彦会員	高砂青松RC	9月 5日 (9/7)
桂田 重信会員	高砂青松RC	9月 5日 (9/7)
河合 利昭会員	高砂青松RC	9月 5日 (9/14)

◆お祝い

○出席100%祝

山本 広志会員	23年
大村 泰司会員	19年
荒川 俊雄会員	6年
西田 秀雄会員	6年
濱崎日出夫会員	2年

○誕生日祝

濱崎日出夫会員
中尾 康三会員
福島 弥一会員
田代 和幸会員
高木 史郎会員
河合 利昭会員

○結婚記念日祝

竹内 正道会員

○配偶者誕生日祝

山名 幸子様
中野 千浪様



出席100%祝



誕生日祝

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

増田耕太郎東播第2グループガバナー補佐……本日は、2回目の訪問となります。
卓話させていただきます。

脇谷 政孝会員……増田ガバナー補佐、佐野様のご来訪を歓迎いたします。

籠谷 啓一会員……増田ガバナー補佐様をお迎えして。

坂井 智代幹事……ガバナー補佐 増田耕太郎様、本日宜しくお願ひ致します。

山名 克典会長……ガバナー補佐増田様、随員佐野様をお迎えして。

濱崎日出夫会員……出席100%祝を戴きまして、ありがとうございます。

大村 泰司会員……出席100%祝を戴きまして、ありがとうございます。

山本 広志会員……出席100%祝を戴きまして、ありがとうございます。

西田 秀雄会員……出席100%祝を戴きまして、ありがとうございます。

河合 利昭会員……誕生日祝を戴きまして、ありがとうございます。

福島 弥一会長……誕生日祝を戴きまして、ありがとうございます。

高木 史郎会員……誕生日祝を戴きまして、ありがとうございます。

濱崎日出夫会員……誕生日祝を戴きまして、ありがとうございます。

中尾 康三会員……誕生日祝を戴きまして、ありがとうございます。

田代 和幸会員……誕生日祝を戴きまして、ありがとうございます。

山名 克典会長……配偶者誕生日祝を戴きまして、ありがとうございます。

早退1名

◆幹事報告 (2,909回)

○ガバナー事務所より

①「第11回ロータリー全国囲碁地区大会」のお知らせ

平成24年10月20日(土) 日本棋院会館

②ロータリー財団月間(11月)卓話依頼について10月1日(月)が申し込み締め切りです。

※例会変更

◎加古川RC 平成24年10月 9日(火) → 11日(木) 午後6時～
3クラブ合同例会のため

平成24年10月23日(火) → 職場例会のため

例会会場が加古川防災センターに変更

平成24年11月 6日(火) → 会員親睦旅行例会のため
3日(土) 4日(日) 於：熊本・阿蘇地方

○ガバナー公式訪問

平成24年9月21日(金)

当日は、上着・ネクタイ着用をお願いします。

◆会長の時間

本日はクラブアッセンブリーとして、ガバナー補佐増田耕太郎様、随行で高砂青松 R C 佐野栄作様をお迎えしております。

9月21日(金)のガバナー公式訪問に先がけ、色々と御助言、御指導及び情報提供をお願いします。

さて、パラリンピックに関してですが、目標にしていた前回の北京大会のメダル計27個以上は難しい様です。現在、金メダル2個を含め計8個

ということで、低迷しております。昨年のスポーツ基本法が制定され障害者スポーツの推進が明記されているとの事ですが、選手強化費も障害者スポーツ協会を通じて、厚生労働省が出していて、福祉の領域から脱却されておりません。ちなみにオリンピック委員会は文部科学省所管となっております。又メダル報奨金もオリンピックでは金300万円、銀200万円、銅100万円に対してパラリンピックでは金100万円、銀70万円、銅50万円だそうです。

国全体で障害者への意識改善変革が必要でしょう。



山名克典会長

◆本日のプログラム

クラブアッセンブリー ガバナー補佐訪問
東播第2分区ガバナー補佐 増田耕太郎様

ロータリーの例会について少しお話ししましょう。

皆様もよく耳にされたことがあると思いますが、ロータリークラブは奉仕する団体でなく、奉仕する人々の集まりであり又、そこに「善意というものがなければロータリーはただの社交クラブである」とも言われています。

そもそもロータリー活動の基本が例会出席にあることは常に強調されている通りであります。それはなぜでしょうか。例会はまず親睦を深めることを目的とし、そこから奉仕の理想を高揚することをねらっております。

では、どのような状況に於いて親睦から奉仕の理想が生まれ育つのでしょうか。ポール・ハリスは自分の創ったシカゴクラブの例会に出席すると童心に戻ることが出来ると言っていたそうです。又、例会の一時間は神様になる時間でもあるともいわれました。この童心、あるいは神様というのは人間が本然の姿（つまり何の余分な自意識のない状況）素直な姿に立ち帰って善意が十分に発揮される状態を意味しています。ではなぜ例会に出席すると童心に帰ったり、神様のような状態になれるのでしょうか。

それはロータリーの例会には競争者がおりません。警戒する人物もおりません。なぜなら職業分類によって一人一業ということになっていますから、原則として同業者はおらず上司も部下もおりません。職業分類という点からみんな平等であり、しかも信用出来る人ばかりの集まりであるからであります。そこで競争心も警戒心もなくなった時、人間はその本性をとりもど



して善意が溢れて来るのであります。即ちロータリーはその職業の業務の忙しさにかまけ、緊張が続きなかなか善意を発揮出来にくい実業家、あるいは専門職の人の埋もれた善意を発掘して湧き上がった善意に奉仕という方向に実践させることを目指した会合であるのです。

又、今一度ロータリーの綱領を声を出してよく読んでみて下さい。このように書かれています。

●ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある；

第1. 奉仕の機会として知り合いを広めること；

第2. 事業及び専門職務の道徳的水準を高めること：あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること；

第3. ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；

第4. 奉仕の理想に結ばれた事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること；

…と、このようにうたわれているように綱領は、ロータリーは団体として奉仕活動するというよりはむしろ、ロータリアン個人の奉仕を期待しているのであります。つまり、事業に成功した素質のよい地域社会の指導者にもう一つ奉仕という筋金をいれてあげようというのがロータリークラブです。従ってロータリーに参加し敢行しようとするれば、まずロータリアンとしての誇りを思い責任を感じなくてはなりません。例会には必ず出席し、会員同士はお互いに尊敬を交わしつつ友情を深めます。そして例会出席が楽しくなった時は、心の中に奉仕の理想が沸いてくるのです。まず自分の所属している委員会には進んで出席し実践して下さい。ロータリーに見物席はありません。みんな役者の筈です。

ロータリーで実践した小さな奉仕がまたあなたを大きな奉仕事業に踏みきらせませす。田中R I 会長もこの「奉仕を通じて平和を」の精神をもってロータリーの目標とする、より平和な世界に向けて邁進するようにとメッセージを発しておられます。

7月のロータリーの友の中でR I 会長からのメッセージとしてロータリーの中核にあるのは、奉仕の力に対する信念です。奉仕を優先することで、自分よりも他者のニーズが優先され、人々が抱える困難に対し、深い同情の心が生まれます。そして個人のニーズより社会のニーズを重視するのは日本の文化と切り離せない、伝統的な価値観であって2011年3月に起こった大地震と災害後、人々が生き延び、井然と互いに助け合い復興に努力できたのも、この価値観があったからに他ならないのです。つまり他人を思いやる心が大切なのでありますと強調されています。

ここで奉仕の原点というべきお話をさせていただきます。

第三十五話 布施の心

郊外から、パリに向かって、一台の馬車が走ってきました。村の辻に二人の少年が立っていて手を上げました。

「小父さん、パリへ行くの」、「そうだよ」、「弟をのせてやって」。馬車はまた、砂煙りをあげながら走っていきます。

しばらくして乗客が、馬車のうしろを見ますと、砂ぼこりの中をさきほどの少年が、真っ赤な顔をして、歯を喰いしぼり、懸命に走ってきているではありませんか。

「みんな、さっきの少年だよ。お前の兄さんだろう。どこまで走っていくんだ」、「うん、パリ

までだよ」。パリまでは、まだ四キロもあるでしょう。乗客は不審に思って、なぜ乗らないのかと尋ねます。

「お父さんが死んだから、おあしがないんだ。お前は小さいから馬車に乗れ、あんちゃんは強いから、走ってついてゆくといいんだ」。

乗客は顔を見合わせました。「何しにいくんだい」、「お母さんに会いにいくんだ」、「お母さんはパリにいるの」、「うん、皿洗いしているんだ」。

乗客はお互いの顔を見合わせながら、誰いとなしに、帽子を回してお金を集めました。「おい。馬車を止めてくれ！」。ギーという音をたてて馬車はとまりました。「可哀そうな子供だよ。お父さんを亡くして、お母さんに会いにパリに行くんだ。乗せてやってくれ」。

馭者の小父さんは、後を振り返って、「そうだと分かってりゃ、早く乗せてやるのに」とニッコリ笑って少年を乗せました。乗客がお金を渡そうとすると、「いや、そのお金はもらえないよ。子供たちにやってくれよ」。

乗客は、みんなニッコリ笑って、うなずいて、少年に渡しました。「小父さん、小母さん、ありがとう」。馬車は、何事もなかったように、爽やかな笑い声につつまれてパリへ、パリへと走っていきました。

これは深川純一パストガバナーがガバナーの時1990年～1991年度に出版されたロータリー百話の中の第35話「布施の心」という話で、兄も、乗客も、馭者も、すべて素朴な善意の人、このような素朴な善意がロータリーの奉仕の出発点でありました。

さて、前年度の地区協議会に於いて、石丸ガバナーは（その時はまだエレクトでしたが）2012～13年度の地区の運営方針を発表されました。その要点を再現してみようと思います。

まず我々は、より上質の人生を求めてロータリー活動をすべきであります。

人生にはレベル1として、生きていくだけの人生

レベル2として、自己満足の人生

レベル3として、人のための人生を知った人生

レベル4として、人のための人生に喜びを感じる人生

とがあるが、当然レベル4の人生をロータリアンは目指すべきであります。

2010年、国際ロータリー規定審議会採択決議案10-182では、ロータリーは1つの人生哲学であるとし、このように述べられています。

「ロータリーは基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務及びこれともなう他人のために奉仕しようとする感情の間に常に存在する矛盾を和らげようとするものである」と、世界平和のために隠れている皆さんの恕（ゆるす）心＝同情心、他人を思いやる心を引っ張り出して発揮させましょう。他人を思いやれば、それは奉仕になり喜びを感じるでしょう。それがレベル4の最上質の人生なのです。

もう一つ、石丸ガバナーが強調されている事項は会員増強であります。RIは3年間で純増10万人を目標としています。従って年3%の純増です。

2680地区の状況を見てみましょう。

16年前の田中年度には4135人だったのが以後15年間減り続けています。2012年6月末で2910人で実に1225人も減少しています。2011年7月1日～2012年6月末だけみても41名の減少となっています。このように会員が減り続けると18年後には今の半分の1500人位になってしまいます。まず会長が先頭に立って会員増強に力をそそいで

下さいと。その為にはまず何をなすべきか！石丸ガバナーは広く市民にロータリーを知ってもらう努力をして下さい。

まず、○各クラブの公共イメージの向上に努めること

○広報活動を見直し、奉仕プロジェクトがメディアやマスコミに報道されるように工夫して下さい

○一般人が参加でき一般の人にクラブの活動をアピールする方法を工夫して下さい

○クラブの運営をどうするか。あなたのクラブを元気にして下さい

あなたのクラブは1. 楽しく活気に満ちていますか

2. 人から注目されるような自慢のクラブでしょうか

3. 独自の活動を行う個性あふれるクラブでしょうか

4. クラブにはいろんな会員がいますか

5. 会員の積極的な参加がありますか

6. クラブでは新しい考え方を取り入れていますか

7. あなたが思い描くクラブの理想像と同じですか

こういったことがらを念頭において、会長が先頭に立って活動して下さいとおっしゃっています。

さて、昭和28年4月25日、姫路RC、明石RCをスポンサークラブとし、わが国99番目のクラブとして誕生した高砂RC様は山名会長様、坂井幹事様のもと、7/1現在49名の会員数で、40才代が9名、50才代が16名、60才代14名、70才以上10名、平均年齢は61.6才となっており、ロータリーを楽しもう！という会長方針のもと、60周年を目前にしてさらに積極的にロータリー活動を展開しようとされていることに敬意を表したいと思っております。来る9月21日のガバナー公式訪問日のガバナーのすばらしいお話しを楽しみにして迎えられます様に願いますと共に、皆様方の益々のご活躍を祈念申し上げまして本日の卓話とさせていただきます。

◆定例理事・役員会

平成24年9月7日(金)

於 高砂商工会議所 例会終了後

出席者

山名 克典	○	片嶋 純雄	○	坂井 智代	○	西田 秀雄	○	河合 利昭	○
覚野 成広	○	大村 泰司	○	尾上 喜秀	○	山本 広志	○	大久保義郎	○
脇谷 政孝	○	井本 雅也	○	後藤 純次	○	高木 史郎	○		

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 定例報告

出席率 7月度 平均100.00%
会計報告 8月度(別紙)

4. 協議事項

1) 9月・10月度のプログラムの件 承認

①職場例会の件

10月19日(金)キックマン食品(株)高砂工場 承認

2) その他

①60周年実行委員会予算書の件 承認

記念誌→丸山印刷(株)に依頼 承認

5. 報告事項

6. その他

7. 閉 会

会 長 山名 克典 幹 事 坂井 智代
例会日時 毎週金曜日12時30分より
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 佐野 敏晴
例会場 高砂商工会議所2階会議室
http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/